

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公表番号】特表2002-511032(P2002-511032A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願平11-505538

【国際特許分類第7版】

B 3 2 B 27/30

B 3 2 B 7/10

C 0 8 F 14/18

F 1 6 L 11/04

// C 0 9 J 127/12

【F I】

B 3 2 B 27/30 D

B 3 2 B 7/10

C 0 8 F 14/18

F 1 6 L 11/04

C 0 9 J 127/12

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月16日(2005.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年5月16日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第505538号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ダイネオン エルエルシー

3. 代 理 人

居 所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号

新 大 手 町 ビ ル デ ィ ン グ 3 3 1

電 話 (3 2 1 1) 3 6 5 1 (代 表)

氏 名 (6 6 6 9) 浅 村



4. 補正により減少する請求項の数 4

5. 補正対象書類名

請求の範囲

図面

6. 補正対象項目名

請求の範囲

図面

7. 補正の内容 別紙のとおり



1. 請求の範囲を別紙のとおりに補正する。
2. 図面を次の通り補正する。
 - (1) 図3を別紙のとおりに補正する。

請求の範囲

1. 次の：

(a) 第一表面と第二表面を有するブレンド・構成部材にして、次の

(i) フッ化ビニリデン単位を実質的に含まない水素含有フルオロポリマー、ただし該フルオロポリマーは場合によりフルオロプラスチックである；および

(ii) 1個または2個以上の、一級または二級のペンダントアミン基を有する第一の実質的にフッ素化されていない重合体、ただし該重合体は場合によりポリアミド類、ポリイミド類、ポリウレタン類、ポリオレフィン類、ポリスチレン類、ポリエステル類、ポリカーボネート類、ポリケトン類、ポリ尿素類、ポリアクリレート類、ポリメタクリレート類またはそれらの組み合わせから選ばれ、該重合体は場合により一級のペンダントアミン基を有する

を含んで成る該ブレンド・構成部材；並びに

(b) 該ブレンド・構成部材の第一表面に接着した第二の実質的にフッ素化されていない重合体・構成部材

を含んで成る複合物品。

2. 請求の範囲第1項に記載の複合物品であって、

成分 (a) (i) のフッ化ビニリデンを実質的に含んでいないフルオロポリマーが、(i) ヘキサフルオロプロピレン、テトラフルオロエチレン、クロロトリフルオロエチレン、フッ素化ビニルエーテルおよびそれらの組み合わせから選ばれるフッ素含有単量体と、(ii) フッ素を含まない水素含有不飽和オレフィン共単量体と、随意成分としての(iii) ヨウ素または臭素含有不飽和オレフィン単量体との共重合単位から形成され、場合により、フッ素を含まない水素含有不飽和オレフィン単量体が、エチレン、プロピレンおよびブタジエンから選ばれ、そしてヨウ素または臭素含有不飽和オレフィン単量体が、ブロモジフルオロエチレン、ブルモトリフルオロエチレン、ヨードトリフルオロエチレンおよび4-ブロモ-3, 3, 4, 4-テトラフルオロ-1-ブテンから選ばれる、前記複合物品。

3. 成分 (a) (i) のフッ化ビニリデンを実質的に含んでいないフルオロ

ポリマーが、テトラフルオロエチレンと、ヘキサフルオロプロピレン、フッ素化ビニルエーテル、エチレンおよびプロピレンから選ばれる少なくとも1種の他の単量体であるが、但し該他の単量体の少なくとも1種が水素を含有している該単量体との共重合単位から形成されているものである、請求の範囲第2項に記載の複合物品。

4. ブレンド・構成部材が、約5～約95%の第一フルオロポリマー、および約5～約95%の、1個または2個以上の、一級または二級のペンダントアミン基を有する実質的にフッ素化されていない重合体を含んで成る、請求の範囲第1項に記載の複合物品。

5. 次の：

フルオロポリマーを含んで成る第一層；

次の：

(i) フッ化ビニリデン単位を実質的含まない水素含有フルオロポリマーと、

(ii) 1個または2個以上の、一級または二級のペンダントアミン基を有する第一の実質的にフッ素化されていない重合体

とのブレンドを含んで成る第二層；および

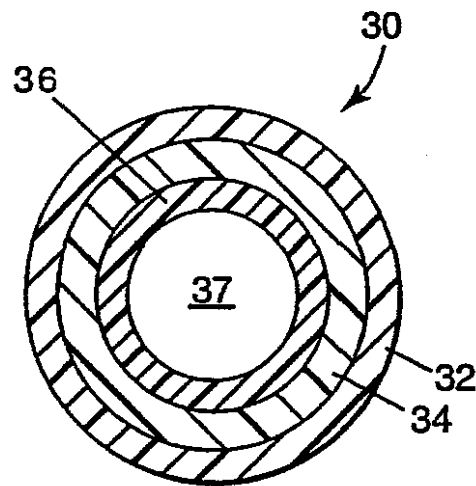
第二の実質的にフッ素化されていない重合体の層から成る第三層
を上記の順序で含んで成り、そして該第二層と該第一層との間の剥離強度値が第一層より成る構成部材と、1個または2個以上の、一級または二級のペンダントアミン基を有する実質的にフッ素化されていない重合体より成る構成部材との間の剥離強度値より大きい多層複合物品。

6. 次の：

(A) フッ素化されていない重合体・構成部材、(B) (i) フッ化ビニリデン単位を実質的に含まない水素含有フルオロポリマーと、(ii) 1個または2個以上の、一級または二級のペンダントアミン基を有する第一の実質的にフッ素化されていない重合体とのブレンド・構成部材を用意し、

フッ素化されていない該重合体・構成部材(A)を該ブレンド・構成部材(B)に接着する

工程を含んで成る、実質的にフッ素化されていない重合体・構成部材をフルオロポリマー含有ブレンド・構成部材に接着する方法。

*Fig.3*